

～ 富山労災病院だより ～

専門医師に聞く

富山労災病院

糖尿病・内分泌科部長 あかがわなみじ 赤川直次

第2回



「高血圧の今昔物語」

前回の「未病のまま進行する糖尿病と脳卒中予備軍」は皆さんのお役に立てたでしょうか？ 今、午前1時です。これを書いていて手応えを確認することの出来ない「もどかしさ」を感じています。

さて、今回は高血圧です。糖尿病の医者がなぜ「高血圧」の話？と思われたかもしれません。糖尿病に高血圧が合併した人の多いこと、驚くばかりです。あなたはどうか？糖尿病の人の高血圧は、高血圧だけの人の基準値よりも更に10mmHg程低く血圧を厳重に管理しなければなりません。理由は自分で探求してみてください。

糖尿病にとっても、重大な「高血圧」の昔と今をお話したいと思います。昔、中・高年者の血圧は「年齢+100」が理想的ですという話を聞いたことがありませんか？ 50歳の方は、血圧150mmHgが丁度良いと、60歳になると160mmHgという訳です。これは人生50～60年の時は良かったのですが、今や90～100歳の方がそんなにめずらしくない世の中になりました。「年齢+100」の話を90歳、100歳の人に当てはめるとそれらの人の血圧は190mmHgや200mmHgとなります。脳卒中でコロリです。

そのような時代の後に、世界保健機構（WHO）が高血圧を160/95mmHgと決めた時代がきました。今の日本では140/90mmHgというラインが引かれています。

このように、時代とともに高血圧の基準が変化してきました。これは医学が科学だからです。新しい根拠が発見されたら、前のことが修正され新しい基準ができるのが科学です。医者の方が言うことが変化することに不信を抱く方もおられるかもしれませんが、変化しない方がおかしいのです。これに対して宗教の原理は2000年前も1000年前もそして今も変わることがありません。それが宗教です。

もう一つ、血圧について、皆さんは「どこで」測る血圧が自分の365日の血圧であると思いますか？ また「誰が」測る血圧が自分の365日の血圧に最も近いと思いますか？ 次回はその話をしたいと思います。

ご質問やご相談は地域医療連携室まで、また富山労災病院ホームページもご覧ください

発行：独立行政法人労働者健康福祉機構
富山労災病院 地域医療連携室
〒937-0042 魚津市六郎丸992

Tel: 0765-22-1354

Fax: 0120-935-631 (フリーダイヤル)

富山労災病院からの逆紹介について

富山労災病院は地域の医師の先生方と連携を行っております。病状が落ちついた方を地域の医師の先生方に紹介して治療していただいております。ご希望の方はお申し出ください。



専門医紹介

消化器内科



富山労災病院 消化器内科部長 新敷吉成（あたらしよしなり）



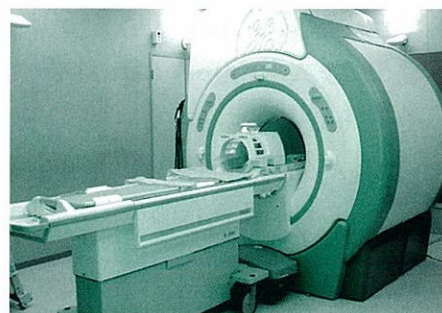
4月より赴任した消化器科部長の新敷（あたらし）です。専門分野は消化器疾患、なかでも肝疾患です。これまで、富山大学付属病院、済生会高岡病院などに勤務しました。大学病院では劇症肝炎などの重症肝疾患の治療と生体肝移植の術前の評価を経験しました。済生会高岡病院では3年間で50人以上の肝臓がん治療を行い、C型肝炎やB型肝炎の治療、肝硬変の栄養治療など様々な肝疾患の治療に従事してきました。これらの経験、知識を生かし、地域医療に少しでも貢献できればと思います。当院では信頼

できる、経験豊富な先生方と共に診療を行えることを大変心強く思っています。肝臓がんの診療は高いレベルで行うことができると考えています。患者さま方の声を大切に、地域の皆様に信頼していただけるよう努力してまいります。院内外の先生方との連携、協力のもと、一層の研鑽に励む所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

富山労災病院 高度医療機器の紹介 今回は MRI です。

MRI（磁気共鳴画像）とは強い磁気とFMラジオ程度の電波を利用して体の内部の状態を検査する方法です。磁気と電波はレントゲン線に比べ人体に害がなくとても優しい検査です。

脊髄・椎間板や軟骨、腱、筋肉など軟部組織の病変が発見しやすく関節疾患などの診断に有効です。また、断層画像に血管撮影を組み合わせることで、脳動脈瘤や早期の脳梗塞、認知症の有無の診断に役立っています。



お問い合わせ：地域医療連携室 TEL：(0765) 22-1354

FAX：0120-935-631 までお気軽にどうぞ！

富山労災病院

内科外来の紹介

一般外来

消化器外来

内分泌・糖尿病外来

腎・高血圧外来

循環器科外来

呼吸器外来

神経内科外来

睡眠時無呼吸症候群外来（月）午後1時30分～

リウマチ・膠原病外来（火）午前9時30分～

禁煙外来（金）午前9時30分～12時 **要予約**

血液外来（月）午後1時30分～

リウマチ・膠原病とは・・・

人の体は様々な細胞が組み合わさり、細胞同士が結びついています。臓器の強度を保つ働きをしているのが結合組織で、皮膚、関節、筋肉、血管など全身のいたるところにあります。その結合組織に病変が生じたものを総称して膠原病と呼んでいます。

- 内臓…全身性エリテマトーデス
- 関節…慢性関節リウマチ
- 皮膚・筋肉…強皮症・多発性筋炎・皮膚筋炎
- 血管…結節性多発動脈炎・血管炎症候群

などがあり、共通の症状としては発熱、関節痛、筋肉痛、こわばりなどです。